

(HP公開様式)

政務活動費の調査研究に係る海外調査、宿泊を伴う県外調査の概要

1 題目：自由民主党 政務調査

2 調査報告概要

| | |
|-------------|---|
| 調査者 会派名等 | [会派名、調査者全員の氏名] 会派名 自由民主党 調査者 白壁賢一、杉山肇、大久保俊雄 |
| 調査内容 | <p>1 調査目的 本県における行政課題である地域振興、まちづくり、半導体関連産業の振興、公共物流施設の管理運営について、それぞれ先進的な取り組みを行っている団体や企業などが実施する各事業について、視察・調査・意見交換を行い、本県の施策に活かしていく。</p> <p>2 調査テーマ 地域振興 まちづくり 半導体関連産業の振興 公共物流施設の管理運営</p> <p>3 調査期間 令和6年2月12日～令和6年2月14日 (2泊3日)</p> <p>4 調査地 [海外→国名・都市名]・[国内→都道府県名・市町村名] 熊本県阿蘇市、熊本県菊陽町、熊本県甲佐町、 福岡県福岡市</p> <p>5 その他</p> |

3 調査テーマ毎の調査項目と選定理由

| | |
|-------------------------------|---|
| <p>[調査テーマ] 地域振興</p> | <p>[調査項目] 地域資源を活用した地域振興について</p> <p>[選定理由] 多くの市町村で、地域の少子高齢化や人口減少の対策として、地域資源の有効活用を通じた地域の活性化に取り組んでいる。本県においても、地域資源を生かした地域活性化の取り組みは喫緊の課題となっているため選定した。</p> |
| <p>[調査テーマ] まちづくり</p> | <p>[調査項目] 持続可能なまちづくりについて</p> <p>[選定理由] 地域の特性や課題に合わせて環境への配慮、住民参加、経済的持続性、文化と歴史の保護などをバランスよく取り入れてまちづくりを進めていくことが求められている。各地域のまちづくりは本県においても重要な課題であることから選定した。</p> |
| <p>[調査テーマ] 半導体関連産業の振興</p> | <p>[調査項目] 半導体産業の持続的な成長と技術革新について</p> <p>[選定理由] 経済や社会生活を支える半導体が不足することで、多くの分野で活動が停滞してしまうことを経験した。半導体の確保を国が主導して取り組んでいるなか、本県電子機械産業において、成長発展する分野として課題を調査する必要があることから選定した。</p> |

| | |
|-------------------------------------|--|
| <p>[調査テーマ] 公共物流施設の 管理運営</p> | <p>[調査項目] 公設民営による環境に配慮した効率的な運営について</p> <p>[選定理由] 中部横断自動車道の開通により物流におけるアクセスの向上が図られることから、物流2024問題を踏まえ、内陸型のコンテナヤードなどについての検討も、本県において大きな課題であるため選定した。</p> |
|-------------------------------------|--|

4 調査項目に係る調査都市・施設・担当者等の選定

| 調査項目 | 都市（市町村）名・施設名・担当者名及び選定理由 |
|--|--|
| <p>地域資源を活用した地域 活性化の取り組みについ て</p> | <p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 熊本県阿蘇市 NPO法人 ASO田園空間博物館</p> <p>[選定理由] 平成16年に設立され、阿蘇市全体を屋根のない博物館にたとえ、自然と人々が織りなしてきた有形・無形の地域資源を保全活用して地域の活性化に取り組んでいることから選定した。</p> |
| <p>持続可能なまちづくりに ついて</p> | <p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 熊本県甲佐町 (一社) パレット</p> <p>[選定理由] (一社) パレットは、平成30年4月に設立され、「完全に民間主導の自立した団体」として、コミュニティ・ビジネスの手法を通じて、地域の課題解決に取り組んでいるため選定した。</p> |
| <p>半導体産業の持続的な成 長と技術革新について</p> | <p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 福岡県福岡市 九州経済産業局 地域経済部</p> <p>[選定理由]</p> |

| | |
|---------------------------------|---|
| | <p>国が主導して半導体関連産業の振興を図っており、現在九州地域では投資の拡大、人材育成の連携、賃金の上昇傾向など好循環の兆しが現れていることから、国の取り組みを確認するため選定した。</p> |
| <p>公設民営による環境に配慮した効率的な運営について</p> | <p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名] 福岡県福岡市 博多港ふ頭株式会社 総務企画部 [選定理由] 平成5年4月に第3セクターとして設立され、平成26年4月から博多港の港湾運営会社として、DX・ECO・BCPに対応し、港湾施設等の効率的かつ効果的な管理運営化に取り組んでいるため選定した。</p> |

5 調査内容

○調査テーマ：（ 地域振興 ）

| | | | |
|--------|--|-----|-------|
| 調査項目 | ・地域資源を活用した地域振興について | | |
| 調査都市等 | 熊本県阿蘇市黒川 | 調査日 | 2月12日 |
| 調査結果概要 | <p>平成16年に設立された「NPO法人ASO田園空間博物館」は、阿蘇市全体を屋根のない博物館にたとえ、自然と人々が織りなしてきた数多くの有形・無形の地域資源を保全活用することで地域づくりにつなげている。</p> <p>特色として、阿蘇市各地にある「阿蘇の宝」となる地域資源を守りながら展示物として活用し、「道の駅阿蘇」の運営や窓口での観光案内を通じて情報発信を行って都市と農村の交流を促進し、また、地元住民と共に阿蘇市に残る地域資源を活用した散策イベントを企画・実施し、阿蘇の美しい風景や豊かな文化を訪れる人々に提供し、地域の魅力を広めている。</p> <p>地域の人全てを含めた地域振興という観点では、農業や観光だけでは限界があるという出発点から「屋根のない博物館」を中心にASOの自然、景観、歴史、文化を発信し、地域住民との連携を図っており、当初の目的を達成していると思われる。</p> <p>今回の調査結果を本県の地域活性化の参考とするとともに、交流人口の増加や過疎化対策などの地域振興に向けた政策提言につなげたい。</p> | | |

○調査テーマ：(まちづくり)

| | | | |
|--------|--|-----|-------|
| 調査項目 | 持続可能なまちづくりについて | | |
| 調査都市等 | 熊本県上益城郡 甲佐町役場 | 調査日 | 2月13日 |
| 調査結果概要 | <p>平成30年4月に設立された一般社団法人パレットは、熊本県甲佐町を拠点に、地域づくりに注力している団体であり、①商店街を起点とし、地域の資源や魅力を発掘・発信し、商店街を中心にまちづくりを進めており、②まちづくりに関する調査研究及びコンサルティングを行い地域の課題やニーズを分析し、具体的な解決策を提案し、③まちづくりに関する人材育成及び交流促進を図り、地域の人々が協力し、共に成長できる場を提供し、④地域振興に寄与する商品・サービスの開発及び販売を進め、イタリアンレストラン、宿泊業、スポーツ事業、学習塾など多様な事業を展開しており、課題を解決しながらのまちづくりは順調のように思える。</p> <p>このような活動をさらに進めるためには、行政と方向性が一致し、一体となった取り組みが必要だと感じた。</p> <p>今回の調査結果を本で県のまちづくりの参考とするとともに、話題性の強い事業によって一時的に注目を集めても、維持できなければ地域活性化には難しいことを踏まえ、今後の政策提言につなげたい。</p> | | |

○調査テーマ：(半導体関連産業の振興)

| | | | |
|-------|--|-----|-------------------------------|
| 調査項目 | 半導体産業の持続的な成長と技術革新について | | |
| 調査都市等 | <p>①熊本県菊池郡菊陽町地内 T S M C 半導体製造工場建設地</p> <p>②福岡県福岡市博多区博多駅東 2-11-1 福岡合同庁舎本館6階</p> | 調査日 | <p>① 2月12日</p> <p>② 2月13日</p> |

| | |
|--------|--|
| 調査結果概要 | <p>① 建設地周辺は、交通の利便性が高く、平坦地で、地下水も豊富とのことであるので、工場の進出が進んでいる。加えて、人口増加が続いているとのことで、住宅開発も進んでいるが、交通渋滞はすでに発生していた。やはり、道路や上下水道などの社会インフラの整備を同時に進める必要がある。</p> <p>② 1980年代中頃から集積が始まり、現在、九州にはデザインハウス、デバイス製造、装置、部品、材料など幅広いサプライチェーンが存在していること、さらに、人材育成・確保にも熱心に取り組んでいることはアドバンテージだと感じた。また、地場企業においても、大手メーカーとの人材交流を進め、産学連携の中で技術力の向上を図り、独自商品やサービスの展開につなげて下請的な経営から脱却している。</p> <p>今回の調査結果を本県の企業誘致の参考とするとともに、産業振興に向けた政策提言につなげたい。</p> |
|--------|--|

○調査テーマ：（ 公共物流施設の管理運営 ）

| | | | |
|--------|---|-----|-------|
| 調査項目 | 公設民営による環境に配慮した効率的な運営について | | |
| 調査都市等 | 福岡県福岡市東区香椎浜ふ頭4-2-2 香椎コンテナターミナル | 調査日 | 2月14日 |
| 調査結果概要 | <p>博多港は、アジアに近い地理的優位性と、鉄道・道路網・空港が近接していることが挙げられる。国際コンテナ定期航路は41航路あり、東アジア・東南アジア航路が充実している。</p> <p>コンテナターミナル運営においては、国内港湾初の独自の物流ITサービスを提供し、利用企業の作業の効率化、コスト・環境負荷に低減に貢献している。</p> <p>山梨県のような海に接していない県においては、開港や税関空港から離れた内陸部の通関物流基地であるインランド・デポ(内陸保税蔵置場)を検討してはどうかと進言を受けた。主に内陸の県で、地域の国際化を発展させるために利用できるものとのこと。また、単なる保税施設ではなく、通関機能も持つことが特徴で、港湾エリアでは作業時間に制限があるが倉庫業者の基準で作業ができることなどのメリットがあるとのことであった。</p> <p>今回の調査結果を本県での物流拠点の整備の参考とするとともに、産業振興に向けた政策提言につなげていく。</p> | | |

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

| 議員氏名 | 所感及び活用の考え方 |
|-------|--|
| 白壁 賢一 | <p>・ 地域振興</p> <p>なぜ指定管理がNPOなのかの疑問もあるが、地域を取り込み、住民と地域資源を生かした運営は見習うところである。</p> <p>道の駅は人と車でにぎわい、地域特産物販売が活況を呈しているように見えた。また、阿蘇という辺境のため車利用の観光客が多く駐車場が足りないようであった。</p> <p>阿蘇地域は、もともと農業と観光で栄えてきた地域であったが、近年高齢化や伝統文化の希薄化等により観光客が減少、地域産業が衰退の一途をたどってきた。これらを打破するために、農業と観光を有機的にリンクさせ、地域経済の活性化を図ることを目的として創設されたのが ASO 田園空間博物館構想だそうである。現状としては、成功の部類に属すると考えるが、さてこれからが正念場、九州域内また全国には類似する道の駅や地域もあまたある。もう少し戦術的に知恵を絞ることとTSMC よろしきを得て、インバウンド対策に注力すべきである。</p> <p>・ まちづくり</p> <p>甲佐町役場でパレット代表者の苦労話を聞く。なかなか発想もよく、地域おこしとしては的を射ているように感じた。</p> <p>過疎化したシャッター街や閉店している商店を宿泊施設にし、サイクルツーリズムや家族連れが楽しめる公園キャンプ場を新設。徐々に認知度も上がり客足も伸びているようである。</p> <p>私からも何点か提案したが、若い方々が地元を愛し、地域再生のために汗をかくことは素晴らしいことである。成功を期待する。</p> <p>・ 半導体関連産業の振興</p> <p>熊本空港から10分ほど市内に向かう左手にこんもりとした林がある。そこがTSMCの建設地。近くに行ってみると、現地は至って平坦で工場誘致施工済み。隣接地にはソニーなどの日の丸半導体関連会社が集積されている。林と畑を切り開いての開発に多少なりとも違和感・危機感を覚えた。</p> <p>シリコンアイランド九州について国経済産業省の方から半導体関連企業集積についての説明を受けた。</p> <p>なぜ台湾半導体が日本に工場を造ったのか、なぜ九州なのか、なぜ熊本なのか、今後の計画と将来構想等について様々な情報と知識をいただいた。近年まれにみる素晴らしい調査となった。</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>勉強の中で気になったことは、国の役人が北海道千歳のラピダスのことをあまり良いように言っていなかったことと、アメリカチップス法について触れないのか触りたくないのか答えが曖昧であったことであり、多少違和感を覚えた。</p> <p>今回の調査をもとに、半導体製造装置会社である東京エレクトロンがらみの質問を議場で行いたいと考えている。</p> <p>・公共物流施設の管理運営</p> <p>博多港埠頭の仕組みや取り組みについて説明を受けた。その後、本題に入り、静岡港から中部横断道を経由する地域活性化策について専門家の立場から物流の流れについて助言をいただき、インランド・デポから内陸ヤードの必要性についてご指摘いただいた。</p> <p>これらは公設民営で行うべきであり、換言すると工業団地の造成ごときことに類似するものである。受け身の物流倉庫だけでなく提案型での総合内陸ヤードの必要性を感じた。</p> |
| 杉山 肇 | <p>・地域振興</p> <p>地域の人全てを含めた地域振興という観点では、農業や観光だけでは限界があるという出発点から田園空間博物館「屋根のない博物館」を中心にASOの自然、景観、歴史、文化を発信し、地域住民との連携を図っている。具体的には道の駅を中心に地域振興グループを立ち上げ、国際交流や熊本地震の語り部、牧野ガイドなど地域の人たちのやりがいを作りながら地域作りを考えている。</p> <p>・まちづくり</p> <p>現在の人口1万人を将来2万人にという目標に向けて、地元の若者たちが精力的に活動している。昔ながらのものを復活させ、観光施設にし、観光客が集まるまちづくりを目指し、また、スポーツを通じた人作りをしている。そういった活動をさらに進めるためには、行政と方向性が一致し、一体となった取り組みが必要だと感じた。</p> <p>・半導体関連産業の振興</p> <p>広大な敷地に半導体関連の工場がいくつも建っており、それに伴う集合住宅や個別住宅などの建設現場が数多く見られ、地域全体から大きなエネルギーを感じた。しかしながら、交通渋滞はすでに発生しており、これから更に人口が増えることは間違いなく、道路や上下水道、病院などの社会インフラの整備を同時に進める必要がある。</p> <p>経済安全保障の観点でサプライチェーンの再構築など国際環境が変化中、TSMCの熊本進出など「シリコンアイランド九州」が更</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>に大きく前進している。半導体関連産業の連携が進むため、その人材確保が次の大きな課題になる。産学の連携や台湾とのさらなる関係の深化など人事の育成、確保を進めていけば、次の時代の九州の大きなアドバンテージになる。山梨でも静岡、長野など広域での取り組みができないかと感じた。</p> <p>・公共物流施設の管理運営</p> <p>物流産業にとって2024年問題はその構造を大きく変える可能性がある。内陸のコンテナヤードなど、山梨でも中部横断自動車道によって現実性が大きくあるよう感じた。そのためには、IT化などによって、時間的なコストや経済的コストの削減、さらには地球温暖化にいかにより大きく貢献できるといったシステムの開発が重要である。</p> |
| 大久保 俊雄 | <p>・地域振興</p> <p>ASO田園空間博物館は、単に道の駅としてだけでなく、充実した窓口案内があり、阿蘇市内の観光、道路、宿泊、食事以外にも地元住民しか知らない観光スポット、イベントも紹介している。地元案内人による地域散策イベント開催や体験イベントを通じた都市と農村の交流、インバウンド対策など、観光立県山梨において今後必要不可欠となる誘客策について考える大きな指針を得ることができた。</p> <p>・まちづくり</p> <p>地域住民が（一社）パレットを立ち上げ、地域づくりに対する熱い思いの人々が集まり、各々が異なる役割を担っている。法人になる前の主体的な活動では行政と連携を図り、設立後は協調性と各種・各団体との中で共有できる地域経営感覚を有している。</p> <p>運営する地域密着型のレストランや宿泊業、スポーツ事業や学習塾等は住民主体の地域事業である。地域性と事業性を兼ね備えた取り組みは、行政と民間の信頼関係や事業化する中での連携、フラットな組織運営、地域の公益を目標にした事業推進など、本県各地域の活性化を図る上での指針、提言のための一助になった。</p> <p>・半導体関連産業の振興</p> <p>「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、半導体産業の今後の方向性及び九州における人材育成等の取り組みについて調査、意見交換を行った。</p> <p>九州を産業用先端半導体の世界拠点にすべく、世界的に競争力を有する半導体企業の支援、企業の主な設備投資計画や立地協定のフォローアップを目指すための「九州半導体人材育成等コンソーシアム」も</p> |

設立した。人材育成・サプライチェーン・海外との産業の交流の3本柱により九州の活性化、グローバル化の積極的取り組みがなされていた。

また、熊本市から約10キロ地点の菊陽町に世界最大の半導体受託製造会社である台湾のTSMCが進出。4万人余りの小さな町は、関連企業も含め更なる人口流入が見込まれ、周りのキャベツ畑の不動産価値の高騰、地域経済特需に沸き立っており、今後の本県の人口増加への提言の一助となった。

・公共物流施設の管理運営

物流、輸送業界において、2024年問題は極めて大きな課題である。積込時間・待機時間減少、コンテナ積込等のためのIT化推進、中継地点の機能も有した内陸型コンテナヤードの開設等、効率化、労働時間短縮のための各種取り組みに対する説明を受けた。山梨県における中部横断自動車道、環状道路、リニア駅設置等、物流、人流の増加による活性化の実現、働き方改革による労働時間短縮に対する施策展開への提言の一助となった。

6 調査状況（写真）

R6年2月12日 調査先（ASO田園空間博物館）



○ R6年2月12日 調査先（TSMC半導体製造工場建設地近隣）



○ R6年2月13日 調査先（一般社団法人パレット）



○ R6年2月13日 調査先（九州経済産業局）



○ R6年2月14日 調査先（博多港ふ頭株式会社）

